

音楽家
大友良英



ライター
音楽批評

細田成嗣



対談「内田修ジャズコレクションの価値とは」



——岡崎市が誇る、「内田修ジャズコレクション」

故・内田修氏による、コンサートの主催、演奏の記録、
病院内スタジオの設置など数々の活動は、
“ジャズ”という音楽がまだ日本では馴染みがない時代から
日本ジャズの発展を支えてきたと言えるものである。
そんな内田氏の活動により生み出され、
現在まで引き継がれてきた「内田修ジャズコレクション」。
その価値についてそれぞれの目線で語る、
音楽家：大友良英 とライター：細田成嗣 の対談を開催。

2022 年
2月20日(日)

開場 13:30 / 開講 14:00
(15:30 終了予定)

会場：岡崎市図書館交流プラザ ホール

講師：大友良英（音楽家）

細田成嗣（ライター / 音楽批評）

定員：80名

入場料：無料（※要事前申込）

申込方法

参加者全員の①郵便番号、②住所、③氏名（ふりがな）、④年齢、⑤電話番号（学生は⑥学校名、⑦学年）をご記入の上、はがき・FAX・メールのいずれかの方法でお申込みください。

〔はがき〕〒444-0059 愛知県岡崎市康生通西4-71

〔FAX〕0564-23-3165

〔メール〕info-libra@dr-jazz.jp

生涯学習課「ジャズを語る14」係 宛

申込締切

2022年1月21日(金)【当日必着】

※定員を超えた場合抽選。結果は全員に郵送にてお知らせします。





大友良英 Otomo Yoshihide（音楽家）

1959 年横浜生まれ。

映画やテレビの音楽を山のように作りつつ、ノイズや即興の現場がホームの音楽家。ギタリスト、ターンテーブル奏者。活動は日本のみならず欧米、アジアと多方面にわたる。美術と音楽の中間領域のような展示作品や、一般参加のプロジェクトやプロデュースワークも多数。震災後は故郷の福島でも活動。その活動で 2012 年には芸術選奨文部科学大臣賞芸術振興部門を受賞。2013 年「あまちゃん」の音楽でレコード大賞作曲賞を受賞。2017 年札幌国際芸術祭の芸術監督を務める。2019 年 NHK 大河ドラマ「いだてん」の音楽を担当。また福島市を代表する夏祭り「わらじまつり」改革のディレクターも務めた。

■ <http://otomoyoshihide.com>



細田成嗣 Hosoda Narushi（ライター / 音楽批評）

1989 年生まれ。

2013 年より執筆活動を開始。編著に『A A 五十年後のアルバート・アイラー』（カンパニー社、2021 年）、主な論考に「即興音楽の新しい波——触れてみるための、あるいは考えはじめるためのディスク・ガイド」、「来たるべき「非在の音」に向けて——特殊音楽考、アジア・ミーティング・フェスティバルでの体験から」など。2018 年より国分寺 M's にて「ポスト・インプロヴィゼーションの地平を探る」と題したイベント・シリーズを企画／開催。

■ Twitter @HosodaNarushi

“内田修ジャズコレクション”とは



1993 年 1 月 11 日、岡崎市内で外科医を営んでいた内田修氏が病院を閉院するにあたり、レコード約 12,000 枚をはじめ、オープンリールテープ、雑誌、オーディオ機材など膨大な資料を、岡崎市に寄贈したのが始まりです。2010 年には、CD を中心とした新たな資料が加わりました。

ジャズに関するチラシ類、書簡、手稿や写真など多彩な資料群も含んでいるのが、コレクションの独自性です。日本のジャズの歴史の検証資料として、また音楽文化の資産として、保存整理が続けられています。

ibra
岡崎市図書館交流プラザ

〒444-0059
愛知県岡崎市康生通西 4-71
TEL:0564-23-3100（代表）

